

水道サービスの持続性の確保（水道の運営基盤の強化）

5) 施設再構築、広域化の事例

5-2) 広域化、事業統合の事例

岩手中部地域の広域化検討プロセス

事業計画策定の経緯と背景

水道を取り巻く環境は、人口の減少等に伴う給水収益の低迷や職員の削減等により、いっそうの厳しさを増しており、老朽化した施設の更新や地震対策、高度化・複雑化する水質管理の強化など、様々な課題に直面している。

岩手中部広域水道企業団および構成市町（北上市、花巻市、紫波町）では、今後想定されるこれらの課題に確実に対応していくために、「国の水道ビジョン」で提言されている「新たな概念の広域化の推進」を踏まえ、企業団および構成市町の水道事業の運営基盤を抜本的に強化することとした。

広域化により、料金収入の安定化やサービス水準等の格差是正、安定水源の確保、施設余剰能力の有効活用、災害・事故等の緊急時対応力強化、更には人材、施設等の経営資源の共有化と効率的活用、スケールメリットを生かした事業運営により、技術の継承を含めた運営基盤の向上と水道利用者への均一で質の高いサービスを安定的に提供することを目指している。

広域化検討プロセス

平成14年2月 岩手中部広域水道企業団議会からの提言「末端給水を想定した将来展望を検討すべきである」

平成18年3月 企業団構成市町による広域水道事業の在り方委員会の報告

「広域による水道事業経営は、運営基盤、経営基盤および技術基盤の強化が図られ、今後の経営の安定化、効率化などに大きな効果をもたらすものと考えられる」

平成22年3月まで 企業団および構成市町ともに、「安全・安心・安定」の水道を「効率的・効果的・持続的」に推進する「岩手中部の広域化」を目指して、を基本理念とする水道ビジョンを策定

平成23年3月 岩手中部地域水道広域化推進検討委員会の報告「岩手中部水道広域化基本構想」

平成23年5月 岩手中部水道広域化推進協議会の設置

平成23年10月 企業団構成市町の統合に向けた覚書の締結

平成23年10月～12月 外部有識者による事業評価委員会を設置・開催し、「水道広域化促進事業費」の国庫補助申請に向けた事業評価を行った。

平成24年2月 岩手中部水道広域化事業計画の策定

平成24年4月 岩手中部水道広域化統合準備室の設置

平成25年10月 企業団構成市町の統合協定書の締結

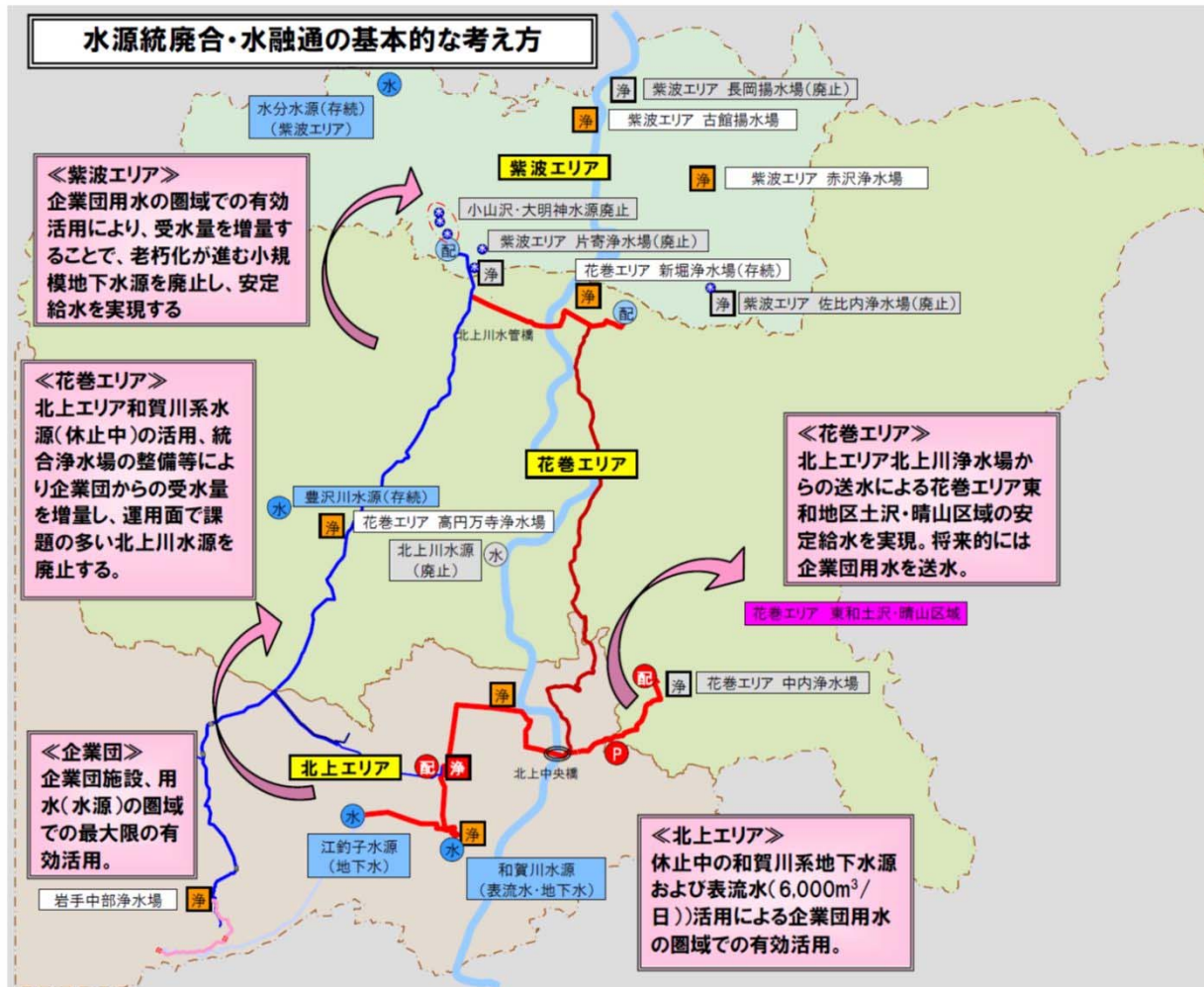
平成26年4月 統合広域化

水道サービスの持続性の確保（水道の運営基盤の強化）

5) 施設再構築、広域化の事例

5-2) 広域化、事業統合の事例

岩手中部地域の施設再構築の事例



小規模な水源施設では、老朽化が進んでおり、水源水量の安定性、水質悪化等の課題がある。

構成団体の水需要と、用水供給のアンバランスが見受けられる。

老朽化の進む小規模地下水源等の施設は廃止し、ダムや表流水等の安定水源とした施設を中心に再構築を行う。



水源水量が安定かつ豊富で、標高の高い位置に施設があり、送配水に最も有利な条件にある企業団施設の有効利用を計画の前提として、圏域全体の施設整備計画を作成した。